

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104 - 134	小学校	算数	算数	5
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
11 学図	算数 516・517	みんなと学ぶ 小学校 算数 5年上・下		

1 編集の基本方針

わたしたちを取り巻く社会は、日々変化しています。子どもたちが、この先の変化の中でよりよい人生を歩み、よりよい社会を作りあげていく力を身につけていけるよう願っております。

その中で、算数という教科を通し、数学的・論理的な視点や思考を育みながら、さまざまな物事に対して多様に対応していき、他者とも協働的に取り組んでいけるようになってほしいと考えております。

この教科書では、そのような子どもたちを育てるために、教育基本法の理念に則り、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう、以下のことに配慮しながら編集しました。

特色 1

みつける

身のまわりや、算数の学習の中から、問題を自らの力で「みつける」ところから、学びがはじまります。学びのはじまりは、生活の中や算数の学びの中など、至るところに潜んでおり、それらを見つめながら学習を進めることができるようにすることで、真理を求める態度を養い、自主及び自律の精神を養うことができるよう配慮しました。

特色 2

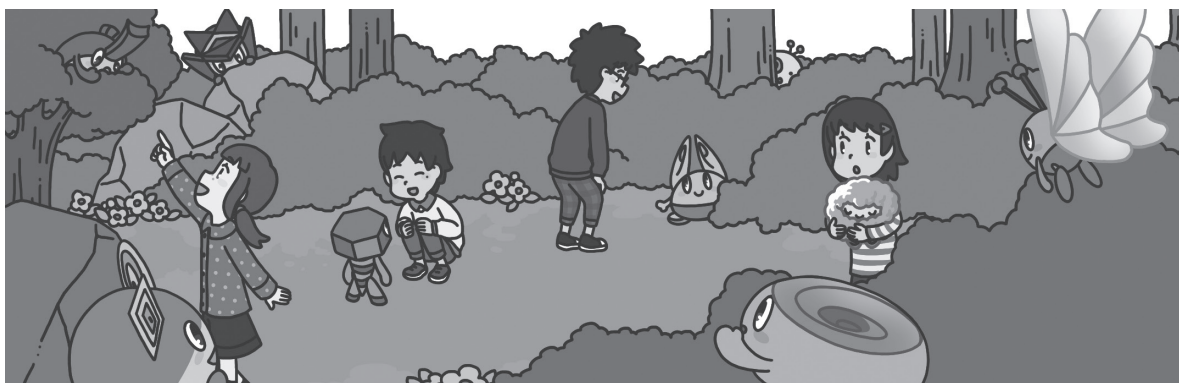
つながる

算数だけでなく、学びにはさまざまな「つながり」が大切になってきます。学びの中のつながりはもちろんのこと、人とのつながりにおいて話し合いや他者の意見を取り入れて、さらに自らの考えを発展させるなど、自他の協力を重んじながら、自らの能力を伸ばすことができるよう配慮しました。

特色 3

ひろがる

算数の世界は、子どもたちの身のまわりの至るところに潜んでいます。社会の中の算数、自然の中の算数、日本の中、世界の中へと、自分たちが身につけた知識がひろがっていくことを実感できるような題材を取り扱うことで、算数の世界がひろがっていく様子を子どもたちが実感できるよう配慮しました。



特色 2 つながる

学びがつながる

学びの中で、児童が「こんなときはどうなるのか」、「同じようにできるのでは」などと自然に問いをもつことができるような構成としました。特に児童の問いが次の学びにつながるような場面では、「つながりの？」(児童の問い)を吹き出しの形で示すことで、次の学びへの関心・意欲が高まり、真理を求める態度を養うことができるようにしました。

□ × 8 = 48
底辺 高さ 面積

□ × 8 = 48
□ = 48 ÷ 8

? 平行四辺形のほかに、面積が求められる図形はあるのかな?



1 次のような三角形の面積の求め方を考えよう。

面積の求め方がわかる形に変えれば...

平行四辺形では、長方形に変えたよ。

めあて 三角形の面積は、どのように求めればよいのかな。

→下 p.53-54

他者とつながる

さまざまな場面で他者の考えや意見を多様な考え方として示し、それらに触れる機会を設けたり、対話の場を適宜提示したりしました。それらを可視化することで、個々で発見できなかった気づきや考えに触れることができるようになり、他者とのつながりを意識しながら学習を進め、自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことができるようにしました。

図書館までの道のりと時間

道り(m)	時間(分)
こうた 720	12
はるな 660	12
たくや 660	10

1 こうたさんとはるなさんでは、どちらが速いですか。

2 はるなさんとたくやさんでは、どちらが速いですか。

ずっと同じように歩いていたのかな。と中で止まったり、走ったりしてないのかな。

家から図書館まで同じように歩いたと考えると、考えられないだね。

どんなふうに歩いたとしても、かかった時間は決まっているね。

単位量あたりの大きさでは、どちらかに考ええと、比べられたね。

→上 p.146

特色 3 ひろがる

社会にひろがる

学びの中や生活の中から見つけた問題を解決しながら身に付けた算数の知識が、また生活の中にひろがっていくことを実感できるよう、各学期の終わりの「算数をつかって」でSDGsに関連した題材を扱い、社会の形成に参画する態度や、環境の保全に寄与する態度、伝統と文化を尊重する態度などを養うことができるようにしました。

算数をつかって

食べ物から環境を考えよう

「フード・マイル」について学び、運ばれる食料の置き(1)に運ぶ必要(2)は少ないかを検討し、フード・マイルが大きいほど運ぶ必要(2)は多いことを学びます。また、フード・マイルが大きいほど運ぶ必要(2)は多いことを学びます。また、フード・マイルが大きいほど運ぶ必要(2)は多いことを学びます。

今日自分を知ろう!

1 地産地消について、いろいろな調べることができた。

2 フード・マイルについて調べることができた。

3 算数の知識を使って、フード・マイルを調べることができた。

4 よくがんばった自分について、ほめることをプレゼントしてあげよう。

→上 p.130-131

算数をつかって

外来生物について考えよう

外来生物は、もともとはなかった生き物です。海外からの移入によって、日本に定着した生き物が外来生物です。外来生物の中には、ハムスターのようにペットとして飼われているものや、農業・林業などに被害を与えているものや、生態系を壊しているものや、人間の健康を脅かしているものがあります。この「算数をつかって」で、外来生物について学び、外来生物の被害を減らすために、算数の知識を使って調べよう。

今日自分を知ろう!

1 外来生物について、いろいろな調べることができた。

2 外来生物の被害を減らすために、算数の知識を使って調べることができた。

3 外来生物の被害を減らすために、算数の知識を使って調べることができた。

4 よくがんばった自分について、ほめることをプレゼントしてあげよう。

→下 p.88-89

算数をつかって

タイの材料について考えよう

タイの材料の重さの割合を調べよう。

タイの材料の重さの割合

材料	割合
タイの材料	100%
タイの材料	100%
タイの材料	100%

今日自分を知ろう!

1 タイの材料について、いろいろな調べることができた。

2 タイの材料の重さの割合を調べることができた。

3 タイの材料の重さの割合を調べることができた。

4 よくがんばった自分について、ほめることをプレゼントしてあげよう。

→下 p.152-153

2 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
全単元	<ul style="list-style-type: none"> 教材の選択にあたっては、児童の生活に根ざし、豊かな情操と道徳心が養われるように配慮しました。(第一号) 男女平等の精神にのっとり、教科書に掲載する男女児童の名前はすべて「さん」付けとしました。(第三号) 4人の成長するキャラクターを設定し、協力して課題を解決していく様子を示すことにより、自他を敬愛し協力を重んずる態度の育成に配慮しました。(第三号) 	全般
①小数と整数	<ul style="list-style-type: none"> 標高とレールの幅を比較することで、生活と整数や小数との関連を重視する態度を養うことができるように配慮しました。(第二号) 	上 p.12～13
②合同な図形	<ul style="list-style-type: none"> 合同な四角形を作図する課題を通して、真理を求める態度を養うと同時に他者との協力を重んずる態度を養うことができるように配慮しました。(第一、三号) 	上 p.29～30
③比例	<ul style="list-style-type: none"> 花だんを作る課題を通して、比例関係が存在することに気づき、生活との関連を重んずる態度を養うことができるように配慮しました。(第二号) 	上 p.36
④平均	<ul style="list-style-type: none"> 鶏の卵の重さを平均で比較する課題を通して、生命を尊ぶ態度を養うことができるように配慮しました。(第四号) 	上 p.51～52
⑤倍数と約数	<ul style="list-style-type: none"> 倍数の導入として、パチンナンバーゲームを扱うことにより、自他の協力を重んずる態度を養うことができるように配慮しました。(第三号) 	上 p.60～62
⑥単位量あたりの大きさ(1)	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの県の人口と面積を調べて、人口密度を求めることによって、郷土を知り、郷土愛を育むことができるように配慮しました。(第五号) 1人あたりの二酸化炭素排出量と温暖化の関係について考察し、環境の保全について配慮する姿勢を育むことができるように配慮しました。(第四号) 	上 p.80～81 上 p.87
⑦小数のかけ算	<ul style="list-style-type: none"> いろいろな計算のしかたを考察することで、自他の協力を重んずる態度を養うことができるように配慮しました。(第三号) 	上 p.96～97
⑧小数のわり算	<ul style="list-style-type: none"> 値を変更することで、どのような式の問題になるかを考える課題を通して、幅広い教養と真理を求める態度を養うことができるように配慮しました。(第一号) 	上 p.111
○算数をつかって	<ul style="list-style-type: none"> フード・マイレージの話題から、地産地消に関わる課題を扱うことで、環境の保全に寄与する態度を養うとともに、郷土を愛する態度を養うことができるように配慮しました。(第四、五号) 	上 p.130～131
⑨図形の角	<ul style="list-style-type: none"> 多角形の角の大きさを求める活動を通して、真理を求める態度を養うことができるように配慮しました。(第一号) 	上 p.139～140
⑩単位量あたりの大きさ(2)	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線やリアモーターカー、台風の風速、音速などを題材として扱うことで、割合が身のまわりのさまざまな場面で扱われていることを知り、生活との関連を重んずる態度を養うことができるように配慮しました。(第二号) 	上 p.145～153
⑪分数のたし算とひき算	<ul style="list-style-type: none"> 分数カードを使ったゲームで導入することで、真理を求める態度を養うとともに、自他の協力を重んずる態度を養うことができるように配慮しました。(第一、三号) 	下 p.2
⑫分数と小数・整数	<ul style="list-style-type: none"> 数の大小を考える課題において、多様な考えを示すことで、自他の協力を重んずる態度を養うことができるように配慮しました。(第三号) 	下 p.28
⑬割合(1)	<ul style="list-style-type: none"> 子どもに人気のある、素晴らしい記録を残した野球選手を紹介し、自律の精神を養うとともに、勤労を重んじる態度を養うことができるように配慮しました。(第二号) 	下 p.42

⑭図形の面積	・面積の求め方の多様な考え方を示すことにより、個人の能力を伸ばし、創造性を培うことができるように配慮しました。(第二号)	下 p.55, 60
⑮正多角形と円	・他国や我が国の数学者を紹介することで、世界の国々の歴史や我が国の歴史に興味をもつことができるように配慮しました。(第五号)	下 p.83
○算数をつかって	・特定外来生物の課題を扱うことで、環境の保全に寄与する態度を養うとともに、郷土を愛する態度を養うことができるように配慮しました。(第四, 五号)	下 p.88 ~ 89
⑯体積	・石のような形の体積の求め方を知ることによって、幅広い知識と教養を身につけることができるように配慮しました。(第一号)	下 p.101
⑰割合(2)	・割合と値引きの関連を考察することによって、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養うことができるように配慮しました。(第三号)	下 p.112
⑱いろいろなグラフ	・交通事故の原因等を調べる課題を扱うことで、生命を尊ぶ態度を養うことができるように配慮しました。(第四号)	下 p.124 ~ 125
⑲立体	・角柱の性質について統合的に考察することで、真理を求める態度を養うことができるように配慮しました。(第一号)	下 p.132
⑳データの活用	・日本人1人が1日に食べる食べ物の割合の変化を題材として扱うことで、健やかな身体を養うことができるように配慮しました。(第一号)	下 p.140 ~ 142
○算数をつかって	・タイヤの原料である天然ゴムの材料について考察する課題を扱うことで、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養うことができるように配慮しました。(第四号)	下 p.152 ~ 154

3 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

○ユニバーサルデザインへの配慮

- ・全面的に UD フォントを使用することで、これまで以上に読みやすく、すべての児童が理解しやすい文字になるように配慮しました。
- ・すべての文章を分節改行にすることで、誰もが読み取りやすく、問題解決をすることや、それらを考察することに重点をおけるように配慮しました。
- ・カラーユニバーサル観点を取り入れ、目に優しく判別のしやすい色使いをすることで、見やすく使いやすい紙面づくりに配慮しました。また、写真やグラフなどでは、色の名前を入れたり形を変えるなど、明確に区別できるように配慮しました。

○人権への配慮

- ・キャラクターや活動の場面などで、男女や特定のキャラクターに偏らないように配慮しました。
- ・いろいろな国の子どもたちを活動場面に入れることで、みなが平等に活動できるように配慮しました。

○ICT 活用への配慮

- ・タブレットなどの ICT 機器を利用した活動を行うことができる箇所には「QR コード」を付すことにより、デジタルコンテンツ等があることを視覚的に容易に判別できるように配慮しました。また、それぞれのデジタルコンテンツがどのような活動を行えるかわかりやすいよう、マークをそれぞれの活動に応じた形にすることで、使いやすさにも配慮しました。※ QR コードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

○生活や日本の伝統文化への配慮

- ・児童の視野を、学年を追うごとに学校、地域社会、日本、世界へと広げていけるように配慮し、日本の文化、外国の文化を理解しようとする態度を養うことができるようにしました。また、それらの題材は、生活に深く関わる文化や環境といった内容を取り上げ、それらの基礎的な理解を養うことができるように配慮しました。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表, 配当授業時数表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
104 - 134	小学校	算数	算数	5
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教科書名		
11 学図	算数 516・517	みんなと学ぶ 小学校 算数 5年上・下		

1 編集上特に意を用いた点や特色

1 主体的・対話的に学びたくなる

問題解決をするとき、与えられた問題を解くのではなく、自分たちが解決したいと考えながら問題に取り組むことが、これからの生きる力に役立つ大切なことだと考えています。

そのために、単元全体の構成を、自分たちで問題や疑問を発見し、それを主体的・対話的に解決しながら学習を進めていくことができるようにしました。

単元導入は、「**？を発見**」のページを設け、日常生活や算数の中から、ふとしたときに感じる「？」に気づき、そこから本文の学習に主体的に取り組むことができるような構成としました。

各時間の「**めあて**」は、児童の素朴な疑問や本質に迫る疑問などが出るタイミングで、その場面に適した内容を提示することで、児童に寄り添った展開で授業が進められるようにしました。

「**まとめ**」は「めあて」に対応したものとなり、児童が気づいたことや見つけたきまりなどをまとめました。

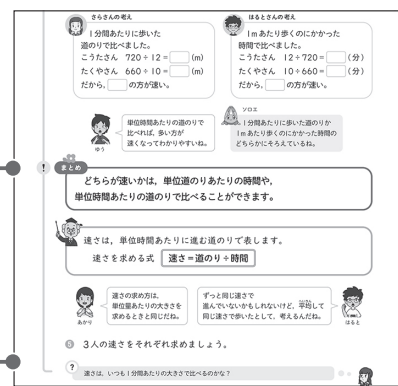
各時間の終わりでは、次の学習につながる児童の「**つながりの？**」を吹き出して提示し、それが次時の学習などにつながることで、さらに主体的に学びたくなるとともに、学びの連続性を感じ取れるようにしました。

単元末では、「**できるようになったこと**」で、これまでに学んできた知識・技能を確認し、さらに「**まなびをいかそう**」では、それらの知識を生きた知識として活用できるような問題に取り組めるようにしました。

また、「**？を発見**」ではじまった単元の学習で、どのようなことを解決できたかを、単元の最後に「**？をかいけつ!**」としてまとめました。さらに、単元全体の学習を振り返ることによって生じた新たな問いを「**つなげたいな**」として提示し、児童が算数の世界を広げたいくなるようにしました。



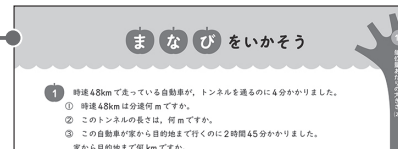
→上 p.145



→上 p.147



→上 p.152



→上 p.153



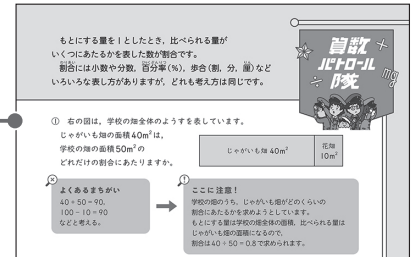
→上 p.154

2 基礎・基本を身につけ、算数を深めたいくなる

算数の学習に限らず、基礎的・基本的な知識を身につけておくことは、その後の問題解決に必ず役立つと考えています。また、苦手な内容を把握しておくことで、基礎・基本を自分たちの中でより確かなものとし、そこからさらに学習を深める態度を養うことができると考えています。

そのために、本文の問題以外の特設ページにおいても、個に応じた学習ができるようにしました。

特に児童が間違いやすい内容や苦手とする内容に関しては、「算数パトロール隊」のページを新設し、よくある間違い例を示すとともに、気をつけるべき注意点を示すことで、学びをふりかえりながら、どんなことに気をつければよいか分かるようにしました。



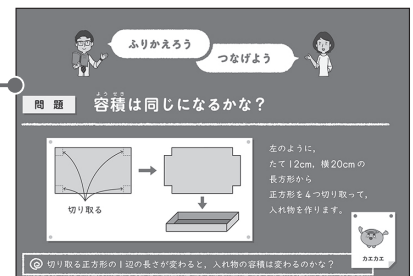
→下 p.118

巻末では「もっと算数」の中に「ほじゅう問題」のページを設け、基礎・基本の確実な習得ができるようにしました。



→上 p.155

特設ページとして、「ふりかえろう つなげよう」のページを設定し、これまでの学習をふりかえりながら統合的・発展的に学びを深め、次の学習へとつなげていけるようにしました。



→下 p.106

3 見方・考え方を使いたくなる

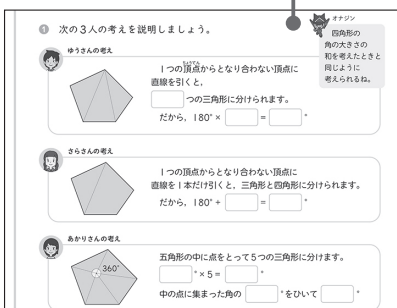
問題を解決するとき、どのような見方をすればよいか、どのような考え方をすればよいかということをも身につけることも大切だと考えています。さらにそれ以上に、身につけた見方・考え方を使えるようになることが、今後の学習や生活の中で大変役立つものになると考えています。

そのために、よく使われる代表的な見方・考え方を「考え方モンスター」としてキャラクター化して、児童が使いたくなるようにしました。

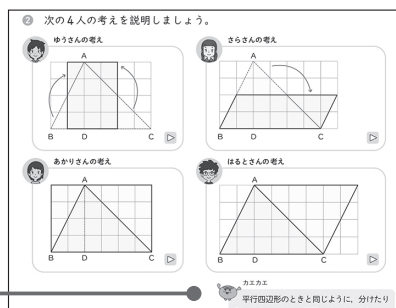
本文中の適切な箇所に、どのような考え方をしているかを具体的に例示しました。また、各単元末では、「考え方モンスターでふりかえろう!」のページを新設することで、どのような場面で見方・考え方をを使って問題解決してきたかをふりかえりながら、単元の主な学習内容もふりかえることができるようにしました。



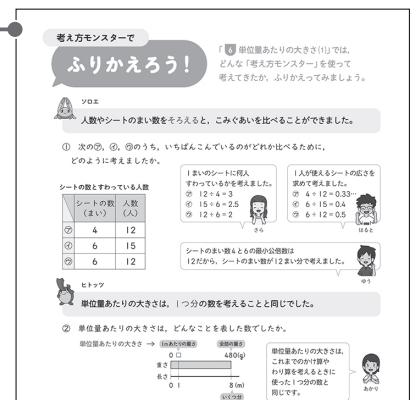
→上 p.9



→上 p.139



→下 p.55



→上 p.88

観点別特色一覧

教育基本法の遵守	・教育基本法の趣旨を十分に反映した編集をしました。【全体】
学習指導要領の遵守	・学習指導要領に記載された内容をすべて網羅し、児童がより理解しやすいように配慮した編集をしました。【全体】
知識・技能の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的活動を通して学習を進めることで、知識・技能を教え込むのではなく、児童自らが率先して学びに取り組み、自然に知識を身につけ、さらに身についた学習内容を確認できるよう、練習問題を配置しました。【全体】 ・児童がつまずきやすい内容を扱う際は、段階的に理解できるようにすることで、すべての児童が無理なく知識・技能を身につけられるようにしました。【全体】 ・巻末に「もっと算数」のページを設け、補充的・発展的に課題に取り組むことができるようにしました。【上巻巻末、下巻巻末】
思考力・判断力・表現力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・思考力を育むために、随所に多様な考え方を示しました。【上 p.30, 下 p.34 など】 ・言葉での説明、図や表を使った説明などの活動を随所に取り入れることで、さまざまな表現力を育むことができるように配慮しました。【上 p.112, 下 p.110 など】
学びに向かう力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの題材や、児童の興味・関心に応じた題材を扱うなど、積極的に算数の学習に取り組み、さらにそれを身のまわりの事象などに還元することができるように配慮しました。【上 p.12, 36, 下 p.108, 119 など】
主体的・対話的で深い学びの実現	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が主体的に算数の学びに取り組めるよう、導入や各題材において、身のまわりや算数の学習の中で疑問に思うことを取り上げ、それを解決したいという気持ちが生まれるようにしました。【各単元導入など】 ・他者の意見を考察する場面や話し合いの場面を多く扱い、イラストなどでも補助的に話し合い場面を挿入することで、意識的に対話的な学びが実現できるようにしました。【上 p.25, 123, 下 p.36, 55 など】 ・巻末の「ふかめよう」や、特設ページとしての「ふりかえろう つなげよう」の学習において、これまで学んできたことを、統合的・発展的に深化できるようにしました。【上 p.74-75, 下 p.106-107 など】
見方・考え方の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・学びの中から見方・考え方を見つけていけるように、代表的な見方・考え方を「考え方モンスター」として具現化し、適宜それを本文中に示すことによって、児童が自然に活用することができるように配慮しました。【全体】 ・上巻巻頭では、「4年生で見つけた見方・考え方」をまとめたページ、下巻巻末には、「5年生で見つけた見方・考え方」をまとめたページを設定し、さまざまなところで見つけ活用してきた見方・考え方が、どのような場面で扱われてきたかを振り返ることができるようにしました。【上巻巻頭、下巻巻末】
学びの接続・系統・連続性	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習では、次の学びにつながる吹き出しを挿入することで、今日の学びが明日の学びにつながっていく算数の系統性を意識できるように配慮しました。【単元全体】
組織・配列・分量	<ul style="list-style-type: none"> ・連続して扱うことで身につく学習内容と、スパイラルを意識することで身につく学習内容を選別し、より児童が学びやすいような単元配列になるようにしました。【全体】 ・本文と練習問題の分量のバランスや、無理のない時数配分に配慮し、児童が学習内容を確実に身につけることができるようにするとともに、つまずきやすい内容には十分に配慮した配列になるようにしました。【全体】
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・単元末の「できるようになったこと」では、自己評価ができるようなチェック欄を設けるとともに、それが評価につながるよう配慮しました。【各単元末】 ・各学期末にパフォーマンス課題及びパフォーマンス評価の手法を取り入れ、個に応じた評価ができる場面を設けるとともに、自己評価もできるようにしました。【各学期末】
さまざまな教育課題への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・食育に取り組んだり、環境問題について考察する「算数をつかって」のページでは、食べ物による環境問題の課題や、外来生物の課題、さらにはタイヤの材料のゴムを題材として取り扱いました。【各学期末】
ICT への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、活動や思考の補助になるようなデジタルコンテンツを用意し、タブレット等で活用できるようにしました。【全体】 ・プログラミング的思考を身につけるため、学年末に「プログラミングのプ」を設定しました。【下 p.150-151】

ユニバーサルデザインへの 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・UD フォントを使用することで、これまで以上に読みやすく、すべての児童が理解しやすい文字になるように配慮しました。【全体】 ・すべての文章を分節改行にすることで、誰もが読み取りやすく、問題解決や思考に重点をおけるようにしました。【全体】 ・カラーユニバーサルの観点を取り入れ、目に優しく判別のしやすい色使いをすることで、見やすく使いやすい紙面づくりに配慮しました。また、写真やグラフなどでは、色の名前を入れたり形を変えるなど、明確に区別できるように配慮しました。【全体】
人権への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダーや人権に対し、差別を助長することがないように、男女のイメージが固定化しないようなイラスト・写真を使用したり、人種を問わないイラストを使用するなど配慮しました。【全体】
印刷・用紙・製本	<ul style="list-style-type: none"> ・AB版を採用することで、開きやすく、作業や書き込みなどがしやすい製本としました。【全体】 ・用紙やインクは環境に配慮したものを採用しました。【全体】

2 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当時数
上巻			
①小数と整数	A(2) ア(7) イ(7)	p.12-19	4
②合同な図形	B(1) ア(7) イ(7)・内容の取扱い(2)	p.20-35	9
③比例	A(6) ア(7) イ(7)・C(1) ア(7) イ(7)	p.36-43	4
④平均	D(2) ア(7) イ(7)	p.44-55	6
⑤倍数と約数	A(1) ア(7) (イ) イ(7)・内容の取扱い(1)	p.56-73	10
○ふりかえろう つなげよう	A(1) イ(7)	p.74-75	1
⑥単位量あたりの大きさ(1)	C(2) ア(7) イ(7)	p.76-89	7
○ふりかえろう つなげよう	C(2) イ(7)	p.90-91	1
⑦小数のかけ算	A(3) ア(7) (イ) (ウ) イ(7)	p.94-109	9
⑧小数のわり算	A(2) イ(7)・A(3) ア(7) (イ) (ウ) イ(7)	p.110-127	12
○倍の計算～小数倍～	A(3) ア(7) イ(7)	p.128-129	1
○算数をつかって	A(2) イ(7)	p.130-131	1
⑨図形の角	B(1) ア(1) イ(7)	p.132-144	7
⑩単位量あたりの大きさ(2)	C(2) ア(7) イ(7)	p.145-154	5
下巻			
⑪分数のたし算とひき算	A(4) ア(7) (イ) イ(7) (イ)・A(5) ア(7) イ(7)	p.2-19	11
⑫分数と小数・整数	A(4) ア(7) (イ) イ(7) (イ)	p.20-31	6
⑬割合(1)	C(3) ア(7) (イ)・A(4) イ(1)・内容の取扱い(4)	p.32-45	5
⑭図形の面積	B(3) ア(7) イ(7)	p.46-69	13
○ふりかえろう つなげよう	B(3) イ(7)	p.70-71	1
⑮正多角形と円	B(1) ア(1) (ウ) (イ)・内容の取扱い(3)	p.72-87	9
○算数をつかって	C(3) ア(1)	p.88-89	1
⑯体積	B(4) ア(7) (イ) イ(7)	p.90-105	8
○ふりかえろう つなげよう	B(4) イ(7)	p.106-107	1
⑰割合(2)	C(3) ア(7) (イ) イ(7)	p.108-118	7
⑱いろいろなグラフ	D(1) ア(7)・内容の取扱い(5)	p.119-127	4
⑲立体	B(2) ア(7) イ(7)	p.128-139	7
⑳データの活用	D(1) ア(7) (イ) イ(7)・内容の取扱い(5)	p.140-143	2
㉑5年のまとめ	A・B・C・D	p.144-149	3
○プログラミングのプ		p.150-151	1
○算数をつかって	C(2) ア(7)・D(1) ア(7)	p.152-154	1

計 157 (予備時数 18)

編 修 趣 意 書

(発展的な学習内容の記述)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
104 - 134	小学校	算数	算数	5
発行者の番号・略称	教科書の記号・番号	教 科 書 名		
11 学図	算数 516・517	みんなと学ぶ 小学校 算数 5年上・下		

ページ	記述	類型	関連する学習指導要領の内容や内容の取り扱いに示す事項	ページ数
上168	約数が2つの数	1	A(1) ア(イ) 約数や倍数について知ること。	1
下27	同じ数が続く小数	1	A(3) ア(ア) 乗数や除数が小数である場合の小数の乗法及び除法の意味について理解すること。	0.5
下165	タイヤの軌跡	1	B(1) イ(ア) 図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて考え説明したりすること。	0.5
合計				2

(「類型」欄の分類について)

- 1…学習指導要領上、隣接した後の学年等の学習内容（隣接した学年等以外の学習内容であっても、当該学年等の学習内容と直接的な系統性があるものを含む）とされている内容
- 2…学習指導要領上、どの学年等でも扱うこととされていない内容